

東北海区沿岸水温予報(2017年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:5月上旬及び下旬はやや高め。</p>	<p>・定地水温は平年並み~やや高め。 ・6月の津軽暖流の各層水温は高め。水塊深度はかなり浅め、東方への張り出しは平年並み。 ・親潮第1分枝はやや北退 ・6月の対馬暖流域の水温は高め。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSによると、親潮第1分枝はやや北退するが、三陸沖への張り出しをみせている。 ・親潮の停滞に伴って、津軽暖流の張り出しは平年並みかやや強めの傾向がみられる。</p>	
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>【観測日:4月4~5日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は7~10℃台であり、全域でやや高め~極めて高めであった。10海里以東は、沖合に行くに連れて高めとなっており、特に県中部から県南部沖の30~50海里では最大8℃以上と極めて高めであった。 《100m深水温》 沖合に行くに連れて高めとなっており、特に県中部から県南部沖の40~50海里では最大8℃以上と極めて高めであった。</p> <p>【観測日:4月24~27日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は5~8℃台であり、全域でやや低め~低めであった。10海里以東は、県中部以北でやや低め~低めとなっており、特に県北部沖では最大5℃程度低めであった。また、県中部以南の20海里以東ではやや高めであった。 ＜100m深水温＞ 県中部以北の10海里以東でやや低め~低めであった。また、県中部以南の10海里以東ではやや高め~高めであった。</p>	<p>【観測日:5月29~31日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は10~14℃台であり、県中部以北でやや高めであった。10海里以東は、県中部以南の30海里以東でやや高め、県北部沖20~30海里及び50海里、県中部以南の20海里でやや低めとなっていた。 ＜100m深水温＞ 県中部以南の30海里以東でやや高め、県北部沖20海里以東及び県中部沖20海里でやや低め~低めとなっていた。</p>	<p>7月上旬は、100m深では全域で平年並み、各0海里定点の10m深では樺島定点を除きやや低めと予測。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>4~5月のコウナゴ(こうなご棒受網)の水揚げは、過去5か年平均の13倍と極めて好調であった。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【3月】 ＜表面水温＞ 3~9℃台であり、142° 30' E以東では平年よりも1~4℃低め、142° 30' E以西では平年並から3℃高めであった。 ＜100m深水温＞ 3~8℃台であり、142° 30' E以東では平年よりも1~2℃低め、142° 30' E以西では平年並から2℃高めであった。</p> <p>【4月】 ＜表面水温＞ 8~12℃台であり、平年よりも1~5℃高めであった。 ＜100m深水温＞ 7~10℃台であり、平年よりも1~5℃高めであった。</p> <p>【5月】 ＜表面水温＞ 9~15℃台であり、平年より1~3℃高めであった。 ＜100m深水温＞ 2~8℃台であり、142° 30' E以西では平年より1~2℃高め、142° 30' E以東では平年並~3℃低めであった。</p>	<p>【6月】 ＜表面水温＞ 11~17℃台であり、38° Nラインで平年より1~2℃低め、38° 30' Nラインで平年並、38° 50' Nラインで平年並~3℃高めとなっている。 ＜100m深水温＞ 3~10℃台であり、平年並~4℃低めとなっている。</p>	<p>【7月】 ＜100m深水温＞ いずれの海域も平年並で推移する。 【8月】 ＜100m深水温＞ いずれの海域も平年並で推移する。 【9月】 ＜100m深水温＞ いずれの海域も平年並で推移する。</p>	<p>水温経験的予測システムの主成分スコア自己回帰モデルによる予測。</p>	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>【3月】 ＜表層水温＞ 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県南:沿岸は「やや低め」、沖合は「低め」</p>	<p>＜表層水温＞ 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県南:沿岸、沖合ともに「やや高め」</p>	<p>【7月】 高め基調で推移する。 【8月】 平年並み、もしくはやや低め基調で推移する。 【9月】</p>	<p>気象庁の1か月予報(平成29年6月9日発表)によると、沿岸よりの親潮分岐の南限位置は「40.5° N、144.5° E」、親潮の面積は「平年並み、もしくは平年より小さめ」と予想されている。 FRA-ROMSによると、7月</p>	

	<p><100m 深水温> 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南:沿岸は欠測、沖合は「やや低め」 【4月】 <表層水温> 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「平年並み」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「極めて高め」 <100m 深水温> 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「高め」 【5月】 <表層水温> 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は「やや高め」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「平年並み」 <100m 深水温> 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 ※県北:37-50N、県中:37-25N、県南:37-00N、沿岸:142-00E 以西、沖合:142-15E 以東</p>	<p><100m 深水温> 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」、 県南:沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」</p>	<p>平年並み、もしくはやや低め基調で推移する。</p>	<p>は本県沿岸への黒潮系暖水の波及が見込まれるが、8月上旬から中旬にかけて、親潮系冷水の波及が強まると見込まれる。 以上の事から、7月の水温は高め基調で推移し、8月と9月の水温は平年並み、もしくはやや低め基調で推移すると予測した。</p>	
--	---	--	------------------------------	---	--

<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月は、沿岸域には冷水が残り「平年並み～やや低め」であった。一方、沖合域は黒潮からの暖水波及の影響で「やや高め～高め」となり、一部「極めて高め」の点もみられた。 5月は、暖水波及の影響が継続し、0～200m深のほぼ全域で「平年並み～やや高め」となり、一部「高め」の点もみられた。</p>	<p>6月は、犬吠埼定線では「平年並み～やや低め」であったが、会瀬～鹿島定線では0～200m深のほぼ全域で「平年並み～やや高め」であった。</p>	<p>「平年並み～やや高め」で推移する見通し。</p>	<p>①自己回帰モデルの解析によると、7～8月は「平年並み～やや高め」で推移する見通し。 ②FRA-ROMSによると、7月上旬、8月上旬ともに「平年並み～やや高め」で推移する見通し。 ③気象庁5月24日発表の「関東甲信地方3か月予報」によると、6～8月の気温は「高い」確率が50%である(平年並み:30%,低い:20%)。</p>	<p>①北部まき網によるマイワシが好漁で、1月～6月の水揚量が20年ぶりに10万トンを超えた。 ②5月、6月の月別シラス漁獲量が、現在の統計史上(1983年以降)最多となった。 ③漁獲されたシラス中のマシラス混獲割合が高く、4月は88～99%、5月は22～69%であった。</p>
---	---	---	-----------------------------	---	--

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～